

一歩

2年生 職場体験「もっと多くの大中学生を！」

先週、2年生は職場体験でした。先週の全校朝会で、校長先生は2年生がお世話になった事業所からいただいた電話の内容を話してくれました。

「とてもすばらしい生徒で、ありがとうございました。来年度は、もっと多くの生徒に来てくれるようお願いします。」

大形中学校としては、非常にうれしい事業所からのお話です。

3年生として、どのような気持ちでこの話を聞きましたか。

A 2年生、いいぞ。がんばってきたね。

B 一年前の私たちだってがんばってきたよ。2年生ばかり褒められて・・・。

Aのような2年生のがんばりを喜び褒め称える気持ちもあれば、Bのように他人が褒められ、ちょっとやっかむ気持ち、ひがむ気持ちをもった人もいるかもしれません。

「隣の芝生は青く見える」と言います。自分以外の人がよくできるように見えたり、周りの人がすごいと思って、うらやましく感じたりすることを「隣の芝生は青く・・・」と表現します。しかし、自分がやるべきことをしっかり行っていると、隣を気にする必要はありません。



人は、「よりよくなりたい」と思い、努力します。「よくなりたい」「よくしたい」という気持ちが、あなたや社会をよりよくなる力であってほしいと願っています。時には、周りをうらやましく思ったり、ねたんだりすることもあるかもしれません。「自分以外の人ばかり褒められて・・・」とか、「たいしたことをしていないのに、あの人ばかり褒められて・・・」という気持ちです。人をねたんだり、うらやましがったりするくらいなら、その人より努力しよう、自分ももう少しがんばってみようという切り替えてがんばる方が前向きで健康的です。

3年生のみなさんは、「清掃」を一生懸命に取り組んでいるでしょうか。「清掃」は、その人の心がよく映し出された活動です。清掃を自分から進んでしたいと思う人は少ないでしょう。進んで取り組むことを喜びに感じる人は素晴らしい人です。これからも、進んで取り組んでください。多くの方は、できればしたくない活動かもしれません。そう思っている人も一生懸命に取り組む人と、手を抜いてサボったりする人がいます。できればしたくないと思っている人も、一生懸命に取り組む人は、全校の校舎を分担していることや清掃する必要性を理解し、自分の役割を果たそうとする人です。清掃活動をできない人は、その時の面倒臭さだけを気にして、全体が見えていない視野の狭い人であり、誰かに任せて平気な残念な心の人です。

3年生には、自分たちの素晴らしい姿で、大形中学校をよい方向に導いてほしいと願っています。素晴らしい姿とは、アピールするような明確な取り組みばかりではなく、地道な活動をしっかり継続して取り組む姿で伝えることも含みます。みなさんの素晴らしさを「背中で伝える」とは、カッコいい派手な取り組みばかりががんばるのではなく、清掃活動のような活動に3年生全員が一生懸命に取り組む姿をいうのです。よいことを行って、その場ですぐに褒めてもらえるのは、小学生までと思いませんか。中学生、特に3年生は、見えないところでがんばれる力、日々は少しであってもぶれずにがんばり続ける姿も大切です。

